

## 中野山遺跡（第11次）No. 11

斜面と谷の調査が終わりました。

所在地：四日市市北山町

位置情報URL：<http://www.gis.pref.mie.lg.jp/mmm/index.html?z=128&ll=35.048567129629625,136.58511581920905>

丘陵上の調査に引き続き行っていた斜面および谷筋の調査が終わりました。

今回調査した谷は、丘陵の斜面に自然につくられた幾筋もある谷のひとつです。ただし、この谷は、縄文時代早期（約1万年前）の炉穴がたくさん見つかった区域から近い所に位置し、現在たくさんの湧き水がみられます。炉穴がつけられた当時からこの谷が存在し、現在同様に湧き水があったなら、まず間違いなく、当時の人々はこの水場を利用したことでしょう。

今回の調査では、そのような水場を利用した痕跡や、丘陵上の乾いた環境では残りにくい木製品などが谷底の土砂の下に残っていないか等を調べることを目的に行いました。



調査区遠景（南東上空から） 青：斜面と谷の調査範囲 赤：炉穴が多く見つかった区域

掘削を進めていくと、斜面からは細い谷筋がみつかりました。調査前はほとんど土砂で埋まっており、浅くくぼんでいただけでしたが、深いところでは1 m以上の深さがありま

す。さらにその下、調査前に水田として利用されていた部分からは小川の流れていた跡が2本みつかりました。この小川は、現在は整備されてコンクリート製の水路（写真右下）に姿を変えていますが、過去には蛇行し、何度か流路を変えていたことが分かりました。



#### 調査区全景（上が南）

谷や小川の一番下には砂礫が厚く堆積していました。その砂礫層からは丘陵上で出土しているものと同じ飛鳥時代（7世紀頃）の須恵器の破片が少量ですが出土しました。このことから、現在、谷や小川を埋めている土砂は7世紀以降に堆積したもので、縄文時代など古い時代の堆積は残っていないことが分かりました。

また、期待された水場の遺構や木製品なども見つかりませんでした。

立地からみて水場として利用されていた可能性は大いにあるのですが、その証拠は見つかりませんでした。長い年月の自然の営みの中で失われていったのかもしれませんが。

#### 問い合わせ先

〒512-8064 三重県四日市市伊坂町 126-1

三重県埋蔵文化財センター 調査研究3課四日市整理所

電話番号：059-363-3195／ファックス：059-363-3196

e-mail：[maibun@pref.mie.jp](mailto:maibun@pref.mie.jp)



ア-リ-リちゃん